



みんなでつくる 生き活きとした 立川プロジェクト報告書



立川商工会議所では、2009年10月に環境 ECO 推進協議会を設置し、「環境行動計画」を策定、地球温暖化対策事業を推進してきました。2014年度にその計画の見直しをはかり、2015年度より新たにネクストステップとして「みんなでつくる生き活きとした立川プロジェクト」を策定。同時に ECO イノベーション推進協議会と改名して活動を行ってきました。2019年度議員改選に伴い、「環境コミュニティ特別委員会」へ変更。これまでの事業に加え商工会議所の政策としてより具体的に展開してまいります。

事業方針

1 中長期的活動(5~10年)

- 1. 立川モデルの検討**
 - 立川の独自性を出したモデルの検討をし、多摩地域全体に広げていくためのプロジェクトの検討
- 2. “見える化”によるグリーンマイルージ(GM)の検討**
 - 夏季、冬季の電力・ガスが前年より削減されていれば GM を付与
 - “見える化”システムの実験参加により GM を付与
 - エコドライブの実践(燃費の登録)により GM を付与
- 3. エコドライブ推進の検討**
 - ノーカーデー、カーシェアリング、パークアンドライド、レンタサイクルの実証実験

2 短期的活動(1~2年)

- 1. 中小企業における省エネ提案**
 - 立川独自の“見える化”システムを中小企業に導入し、省エネを推進する
- 2. 省エネ体験プロジェクト**
 - 環境に意識の高い人材(学生・若者)を育成するため、省エネ・創エネの実験プログラムを作成・実践
- 3. 外部プロジェクトの連携**
 - たとえば“まち・住まい・交通 創省エネエネルギー推進プロジェクト”(国土交通省)
- 4. 情報収集・提供**
 - 勉強会を実施(水素ガス・電力、ガスの自由化、新エネルギー)
 - 補助金の獲得等情報の提供
- 5. アンケート調査の実施**
 - 会員の望むテーマの模索
 - 会員事業所の環境への取り組み(1店1エコ運動の推進)

2020年度の主な活動

プレゼンテーションプロジェクトの推進

2016年度から省エネ体験プロジェクトの一環として中央大学経済学部と連携し、環境をテーマにした調査研究を進めてきました。2019年度に第1回立川プレゼンプロジェクトとして募集を行い5組のご応募をいただきました。2020年度は、このプロジェクトの拡大を諮り、近隣大学と市内高校への募集を行いました。

第11回環境シンポジウム(2021年3月8日) ～立川発!! みんなでつくる環境ビジネス2021～

- 第2回立川プレゼンプロジェクト 実施結果
- 立川市補助金制度及び事例紹介
- 基調講演「環境と数学」
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
数理・推論研究系 リスク解析戦略研究センター 志村 隆彰 准教授
- 立川商工会議所環境宣言

環境国際会議検討分科会の立ち上げ

2023年度を目途に環境国際会議開催を目指し、分科会を設け検討協議を進めていきます。

PR動画「Re-eco～ecoプロジェクトの軌跡と未来～」

YouTube

これまでの主な活動報告

- 2009年度 ● 環境 ECO 推進協議会設置(2009.9.18)座長 藤本 淳 ● 「環境行動計画」の策定(2010.2)【方針】①中小事業所における取組の促進 ②事業者の連携による取組の推進 ③消費者との協働による新たなビジネスチャンスの誘発 ● 第1回立川の環境を考えるシンポジウム・基調講演「地球気候はどこまで来たか?」朝日新聞社 写真センターカメラマン 小林 裕幸氏・パネルディスカッション「低炭素社会とわたしたちの暮らし」
- 2010年度 ● 環境シンボルマークの作成(公募197点より選出) ● 省エネウェブサイトを開設 ● 省エネ診断セミナーの開催 ● 第2回環境シンポジウム～いかに省エネして利益を出すか～ 環境問題への取り組みについて 事例紹介/モデル事業紹介・基調講演「セブン-イレブン・ジャパンにおける省エネへの取り組みについて」(株)セブン-イレブン・ジャパン 取締役 常務執行役員 三谷 康氏
- 2011年度 ● 会員事業所アンケート調査 ● 第3回環境シンポジウム・基調講演「日本『再創造』～プラチナ社会の実現に向けて～」(株)三菱総合研究所 理事長/東京大学 総長 顧問 小宮山 宏氏・パネルディスカッション
- 2012年度 ● エコカフェの実施 ● 自動販売機の省エネ化取り組み ● 事例発表会・環境 ECO 推進協議会の取り組みについて/事例紹介・商店街のLED化について
- 2013年度 ● 第4回環境シンポジウム～立川商工会議所 創立60周年記念 特別講演～ 基調講演「会社におけるバカの壁」養老 孟司氏 ● 省エネ効果のヒアリング
- 2014年度 ● 環境行動計画の見直し ● 「みんなでつくる生き活きとした立川プロジェクト」方針策定 ● 第5回環境シンポジウム～立川発!! みんなでつくる環境ビジネス～ 基調講演「未来から環境ビジネスの今を考える」独立行政法人製品評価技術基盤機構理事長/東京大学名誉教授 安井 至氏・パネルディスカッション「省エネとビジネスについて」
- 2015年度 ● ECO イノベーション推進協議会に改名 ● 「みんなでつくる生き活きとした立川プロジェクト」の具体的な内容策定 ● 電力の自由化セミナーの開催 ● 第6回環境シンポジウム～立川発!! みんなでつくる環境ビジネス2016～ 基調講演「異常気象とその影響」気象予報士 村山 貢司氏・基調講演「エネルギー政策はどう動くか～温暖化問題を踏まえて～」21世紀政策研究所 研究副主幹 竹内 純子氏・立川市補助金制度及び事例紹介 ● 中央大学との連携事業の開始
- 2016年度 ● 中央大学との連携事業キックオフイベント実施 ● 第7回環境シンポジウム～立川発!! みんなでつくる環境ビジネス2017～ 協議会と学生の連携事業 研究発表「環境の持続可能性からみた立川市～未来へ向けて考える～」中央大学経済学部 藪田ゼミナール 藪田 雅弘 教授・立川市補助金制度及び事例紹介
- 2017年度 ● 第8回環境シンポジウム～立川発!! みんなでつくる環境ビジネス2018～ 基調講演「南極・北極から見る地球と人類の過去・現在・将来」大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所 所長 中村 卓司氏・協議会と学生の連携事業 研究発表「アプリ(APRE)が立川を変える?!」中央大学経済学部 谷口ゼミナール+谷口 洋志 教授・立川市補助金制度及び事例紹介
- 2018年度 ● 第9回環境シンポジウム～立川発!! みんなでつくる環境ビジネス2019～ 基調講演「国民性調査に見る日本人の環境に関する意識」大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所 データ科学研究系 准教授 前田 忠彦氏・基調講演II「南極は地球と宇宙の覗き窓」大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所 地圏研究グループ 教授 本吉 洋一氏・協議会と学生の連携事業 研究発表「立川市の地域環境」中央大学経済学部 谷口ゼミナール・「柴波町の地域活性化」中央大学経済学部 丸山ゼミナール・立川市補助金制度及び事例紹介 ● Re-eco 動画制作 ● 名古屋商工会議所役員視察研修
- 2019年度 ● 環境コミュニティ特別委員会へ変更 ● 第10回環境シンポジウム～立川発!! みんなでつくる環境ビジネス2020～ 新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止 ● 第1回立川プレゼンプロジェクトの実施 最優秀賞 中央大学経済学部丸山ゼミ食育チーム「地方創生 ～食について考える」

改修補助金ご案内

1. 無料 省エネルギー診断

効果的な節電対策で光熱費を削減したいと考えている市内に事業所を持つ中小企業に対し、無料で省エネルギー診断を行いました。この制度は、東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)が行っており、エネルギー管理士等の資格を持った技術専門員が現地診断等を行って改善提案をするものです。

2. 令和2年度 中小企業二酸化炭素排出量削減事業施設改修費補助金

省エネルギー診断を受診した市内に事業所を持つ中小企業が改善提案に基づいて行う省エネ改修に対して補助を行っています。省エネ改修を行う場合には、補助金を活用して自己負担を減らしましょう。(※予算が無くなり次第終了します。)

【対象事業者】 市内の事業所(中小企業)

【条件】 ・令和3年2月末までに改修工事が完了する ・エネルギー使用量等を把握している 等

【対象設備】 ・高効率照明器具(LED照明器具等) ・業務用エアコン等の取り替え 等

【補助金額】 補助対象経費の1/3以内(上限50万円)

※これまでの改修補助金利用件数及び補助金利用額

平成22年度/2件 4,000,000円 平成23年度/21件 18,687,000円 平成24年度/8件 12,309,000円 平成25年度/10件 15,674,000円
平成26年度/13件 3,204,000円 平成27年度/15件 8,758,000円 平成28年度/10件 5,301,000円 平成29年度/12件 3,550,000円
平成30年度/3件 1,123,000円 平成31年度/7件 2,464,000円 令和2年度/3件 1,155,000円 (令和3年1月31日現在)

支援に関する問合せ先

立川市 環境下水道部 環境対策課 温暖化対策係

TEL:042-523-2111(内2243) [直通]042-528-4341 FAX:042-524-2603
メール: kankyoutaisaku@city.tachikawa.lg.jp

※令和3年度の支援内容については、
下記へお問い合わせください。

設備の更新を行った事業主の皆さんに伺ってみました!

事例報告

〔Q1〕店舗・事業所のPRをお願いします。〔Q2〕どのような設備を更新されましたか?
〔Q3〕この制度を何で知りましたか? 〔Q4〕エネルギー使用量(電気・ガス等)、CO₂の削減量は?
〔Q5〕この制度を利用して変わったことは何ですか?



尾崎商店

立川市曙町2-15-21尾崎ビル
電話042-522-3878



CO₂削減量

4t

- 〔A1〕 立川駅北口の柳通りに面した場所で昭和57年から地上4階、地下1階の建物で貸しビル業を行っています。尾崎商店は大正5年創業、尾崎ビル4階で米穀、燃料の販売、配達をしています。
- 〔A2〕 ビル共用部分の照明を蛍光灯からLED照明への取替
- 〔A3〕 知人からの助言
- 〔A4〕 CO₂ 4t削減
共用部の電気使用量は47%の削減につながりました。
- 〔A5〕 全体が明るくなり、一見して変わったと感じました
入口の照度が上がり入りやすくなりました。
テナントの皆様より「明るくなりました」と声をかけられ、早くやればよかったと思います。

大丸商事 株式会社

立川市柴崎町2-1-12
電話 042-523-1414



CO₂削減量

1t

- 〔A1〕 諏訪通り、立川駅西側地下道の近くの1階に店舗がある賃貸管理業・仲介業を行っている不動産会社です。オーナー様と一緒に住宅のみならず土地・駐車場・ビルなど賃貸物件の「収益最大化」を目指しています。
- 〔A2〕 事務室内の照明を蛍光灯からLED照明への交換
空調機を高効率空調機への更新
- 〔A3〕 立川市環境対策課のホームページで知りました
- 〔A4〕 CO₂ 1t削減
電気使用量は20%の削減につながりました。
- 〔A5〕 店舗事務室内の電灯をLEDに、空調1機を高効率空調機に更新しました。高効率な機器により使用電力が削減されました。
さらに「人」の意識が変化したことにより、よりこまめに電源OFFなど、効果的なエネルギーの使い方を積極的にするようになりました。